

## 第4回 名古屋港長期構想検討委員会

### 議 事 要 旨

1 日時 令和8年2月2日（月）13：30～14：30

2 場所 名古屋港湾会館 第1会議室

#### 3 議題

- ・パブリックコメントでの意見と対応
- ・名古屋港長期構想の最終案
- ・今後の取組について

#### 4 主な議事

- ・事務局から、資料1「パブリックコメントでの意見と対応」を説明し、その内容が確認された。
- ・事務局から、資料2「名古屋港長期構想の最終案」を説明し、その内容が確認された。
- ・その他として、事務局から、資料3「今後の取組について」を説明した。

#### 5 委員からの主な意見

##### **(最終案全体)**

- ・20～30年先に、どのような姿を目指していくのかが、しっかりと示されている。
- ・将来の状況が見通せない中で、可能な限り踏み込んだ内容にできた。
- ・あらゆる側面から、多くのステークホルダーに向けた構想となっており、全体としてうまくまとまっている。
- ・港の整備には様々な方の理解を得ながら進める必要があるが、長期構想はあらゆる方々に共感してもらえる内容になっている。
- ・基本理念「物流で日本をひっばる価値創造港湾」は、将来の方向性を力強く名古屋港らしく表現している。

- ・物流が前面に出て、非常にわかりやすいコンセプトでイメージしやすくまとまっている。
- ・日本中央回廊の中心として、一極集中是正の一翼を担う役割がこの港にもあるという趣旨の記述は、名古屋の国土における役割と軌を一にするものであり大変共感する。
- ・日本経済を牽引していくことを表現できたことは、素晴らしいことである。物流を支えていくことに主眼を置きつつも、新しい地域や社会を創出していくことも含まれており、非常に魅力的な長期構想になっている。
- ・名古屋港から価値を得る人々の視点から3つの将来像を示した上で、物流や産業、にぎわい、環境など、様々な施策の方向性が取りまとめられており、非常に充実したものになっている。
- ・名古屋港だからできることを真剣に議論し、価値創造のロジスティクスハブにしていくことを提唱できて良かった。
- ・次世代エネルギーの活用に向けて港への期待が高まっているなか、こうして長期構想に示されたことは、中部圏の企業や、脱炭素に向けたシナリオ作りに、非常に大きな強みになるものであり、勇気づけられる内容になっている。
- ・海の豊かさを追及する新しいメッセージを出したことで、他の港と異なる独自性が表れている。
- ・長期構想の策定が終わりではなく、価値創造港湾の実現に向けたスタートである。

#### (ポートアイランド)

- ・今回の長期構想で、ポートアイランドの記述が初めてされたというのは大変大きなエポックである。
- ・今まで位置付けがなかったポートアイランドについて、次世代エネルギー拠点、物流拠点などが、前向きに位置付けされた。
- ・ポートアイランドの利活用は、名古屋港にとどまらず、この地域の将来にとって大変重要である。引き続き、幅広い意見を聞きながら、利活用に向けた検討を進めていただきたい。
- ・ポートアイランドの開発主体の枠組みを作るのが1丁目1番地ではないか。この検討委員会が起爆剤となることを期待している。

### (長期構想の実現に向けた取組)

- 名古屋港は日本一の港であると同時に、ものづくりという地域産業と密接な港という性格も有しており、今後はより国土の発展に貢献する港という役割を強く意識していただきたい。
- 時代の変化とニーズを的確にとらえ、世界で選ばれ続ける港を目指し、船会社や荷主、クルーズのお客様にも選ばれる港を目指していきたい。
- 創造された価値を深く理解し、他の港よりも価値が高くあって欲しい。
- 港の価値がこれだけあるから、こうする必要があるということが一般の方に伝わると良い。
- 名古屋港は我々にとって愛着がある港である。物流拠点としてさらに発展できるよう、引き続き連携していきたい。
- 荷物の量が増えるように努力しなければ、本当の意味での名古屋港にならないので、我々業界の中でも、そのあたり、頑張っていきたい。
- 単純な話ではないが、量が確保できないと直行便がなくなってしまう。いかに、荷物を集約できるか、利用者を増やしていけるかが今後の課題である。
- 製造業、自動車産業を中心に、名古屋港が京浜・阪神と異なる役割で日本経済を支えているという認識のもとで、適切な規模の投資をお願いしたい。
- まちづくりでは、他の地域とは一線を画したような独自のウォーターフロントとして、名古屋の魅力を高めていただきたい。
- 防災だけではなく、経済や新しい技術開発についても、官民一緒になって取り組んでいけるのが名古屋港であり、この長期構想を具体的に形成していただきたい。
- 長期的な方向性が明確にされた中で、将来に繋がるこれからの取り組みが手薄になってはならない。長期構想の実現に向けて着実に取り組んでいただきたい。
- 実現していくにあたり、この羅針盤の解像度を少しずつ上げられるよう、官民一体となった取り組みを進めるため、引き続き連携をお願いしたい。
- 20年30年は非常に長い年限なので、これを着実に実現するためには、中期計画などの詳細なプランを作りながら、1歩1歩前進していく必要がある。

- ・船に例えると、羅針盤だけでは、途中で天候や予期せぬ出来事などがあり、直線的には目的地に着くことができない。長期構想をまず肝に銘じたうえで、港湾計画や中期経営計画を策定して欲しい。
- ・長期構想で検討した内容がしっかりと港湾計画の方に反映され、その計画が実現されるということが大事である。
- ・地域の関係者が一体となり、港湾計画の改訂や実現に向け、引き続き協力して取り組みを進めていただきたい。
- ・名古屋港がより一層発展していくよう管理組合としっかり連携し、構想の実現に向け、港湾計画の改訂などに協力していきたい。
- ・港湾計画などの検討の際には、パブリックコメントや委員会の議事録を振り返っていただきたい。
- ・経営の視点に関する記述は、収入を上げるという意識を持つということと、多額の経済効果の帰着主体から投資につなげられるように、理解を求めるという趣旨であると認識している。
- ・時代の変化が非常に激しいため、迅速、かつ柔軟な対応が求められるところは、必要に応じて対応していくべき。
- ・世の中の変化のスピードが速いため、継続的に見直していくことが大切である。

#### (パブリックコメント)

- ・非常に多くの意見が寄せられており、名古屋港に関する関心や期待の高さが非常によくうかがえる。
- ・国際競争力の強化に関する意見が多くあり、今後の名古屋港に多くの期待が寄せられていると感じた。
- ・金城ふ頭のフェリーターミナル、クルーズ拠点、ガーデンふ頭の再開発に関するコメントもあり、魅力ある港についても関心の高さを感じた。
- ・長期構想を念頭におき、パブリックコメントでいただいた労働問題や生産性向上などの意見も参考にしながら、足元の港湾サービス機能の拡充に向けた取組に反映していきたい。